

朝、夕の園庭遊びも始まり、子どもたちの元気な声が青空の下響き渡っています。コロナ感染症の予防も緩和され日常が戻ってきました。コロナだけではなくインフルエンザ、胃腸炎、溶連菌など小さな子どもたちの集団生活では、感染症の心配が尽きません。予防も大切ですが、まずは感染症に負けない体づくり！！基本に戻って伸び伸び身体を動かし思い切り遊ぶ！！保護者の方と一緒に子どもたちの健康を守っていきたくと思っています

今年度も、「ほけんだより」を通して、健康に関する情報や、園内で流行している感染症などを、お知らせしていきたくと思います。

感染症を流行させないためのお願い

先日玄関掲示でもお知らせいたしましたが、幼児クラスで急な嘔吐や下痢など胃腸炎が流行しました。罹患してしまった子は、幸い長引くことなく回復しましたが、あつという間の感染に集団の怖さを痛感しました。

- ・嘔吐、下痢は1日2回以上
 - ・発熱は、解熱後24時間
- ご家庭で様子を見てあげてください

集団生活で流行を防ぐためのお願いです。お仕事で大変かとは思いますが、子どもたちの健康を守り楽しく園生活を送る為です。ご理解、ご協力よろしくお願い致します。

・コロナ感染症も5類になり、マスク生活も緩和されています。保育園の送迎の際の保護者の方のマスク着用については、個々の判断にお任せいたします。

尚職員は、小さなお子様のいる環境の為、もうしばらくは、着用といたします。

子ども達の洋服選びのお願い

保育園では、「入園・新年度にあたって」を配布し、園の決まりをお伝えしています。その中の「服装について」で、

安全に有意義な保育園生活を送る為、避けていただきたい服としてお知らせしています。又、園の特色でもあります、

運動機能の促進で、様々な活動をより安全に行えるためにも、服装はとても大切だと考えています。

避けて欲しい洋服

- ☆スカート（裾が広がっているキュロットも含む）
- ☆長めのチュニック（ワンピースのように見える上の服）
毎朝園で取り組んでいるリズムでは、実際しゃがんだり、四つん這いになったりすると、裾を踏んでしまい思うように動けないお子さんも見られます。
- ☆フード付き衣類（春～秋ジャンパー・パーカーも含む）
- ☆ズボンの裾や上着の裾のひも、鎖や大きな飾り
- ☆体のサイズに合っていないもの（靴も含む）
- ☆長袖で袖が長い物（手を出さずにいる子が多くみられます）

服を選ぶときは、デザイン・着心地だけではなく、安全性についても十分考えて選びましょう。

子どもがその服を着てどのような行動をするか

～走ったり、飛び跳ねたり、勢いよくしゃがんだり、あるいは公園の遊具によじ登ったり駆け下りたりするか～

など考え、つまずいたり衣服が引っ掛かったりしないかどうか想像してみるのも大切なことです。

今一度、お子様の安全を守るための服選びについてご家庭で考えてみていただきたいと思います。